

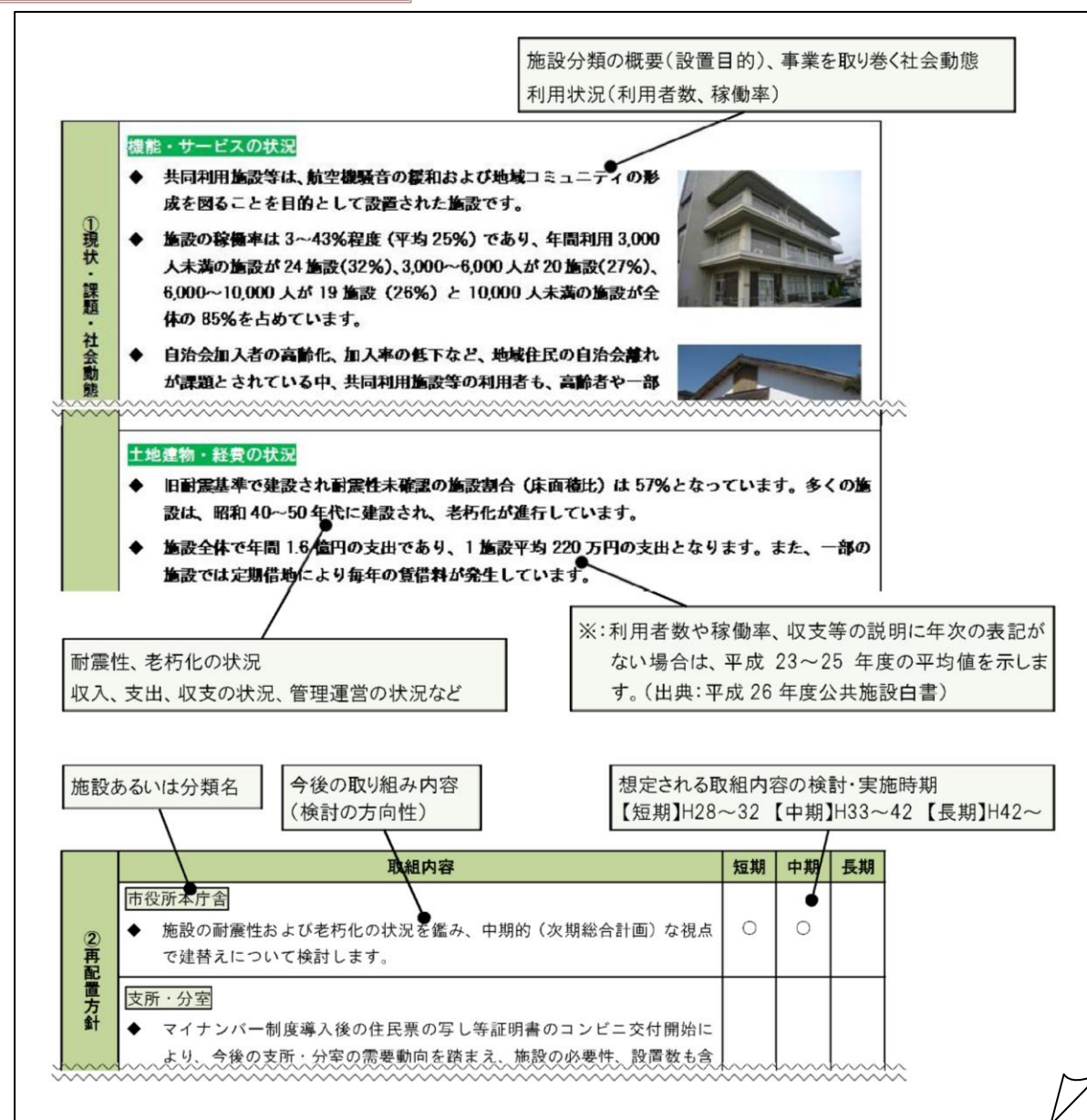
再配置計画の策定に向けた検討概要（平成 30 年度）

(1) 施設毎の適正な配置の検討

一次評価及び二次評価から判定した結果をもとに、まちづくりや政策的判断（総合計画、都市マスタープラン、リニア等）を加味し、施設毎に「複合化」、「譲渡」等といった再配置の方針を定める。分類標記については、今後調整する。（標記の仕方については、今後検討していく 【例】地区別、学区別等）

分類	施設名称	一次評価	二次評価	最終評価
集会施設	〇〇〇〇センター（施設区分Ⅰ）	B評価（移転候補）	地域への譲渡	建物は譲渡を基本とし、機能は地域により存続
産業施設	△△△△会館（施設区分Ⅰ）	D評価（廃止候補）	廃止	建物は解体を基本とし、機能は廃止
公営住宅	××××住宅（施設区分Ⅲ）	55未満（廃止候補）	継続	当面は継続とするが、将来的な譲渡を検討

他市の事例（伊丹市の再配置計画）



(2) ワークショップの実施

公共施設の評価・分析をもとに抽出したシンボル事業（エリアまたは施設単位）について全3回の市民ワークショップを開催する。ワークショップでは「にぎわいの創出、建築、まちづくり」など、様々な立場からの観点や発想から意見交換し、集約した内容をシンボル事業における具体的なロードマップに反映させる。 ※内容は想定であり、今後、変更となる可能性があります。

(3) ロードマップの作成

計画の実行性を高めるため、設定した再配置計画に基づく事業の実施時期の目安を設定する。

ロードマップの設定にあたっては、計画期間を10年毎に第Ⅰ期～第Ⅴ期に分割し、施設の大規模修繕や更新の時期を踏まえて、期ごとに施策を実施すべき対象施設を設定する。

施設名称	第Ⅰ期										備考	
	H29									H38		
〇〇センター						譲渡 0.1億						随時譲渡
〇〇小学校												当面維持
〇〇保育園										建替 3.3億		存続（建替）
〇〇センター					統合 1.0億							□□センターとの統合を検討

施設名称	第Ⅱ期										備考	
	H39									H48		
△△センター										廃止 0.2億		廃止
△△小学校												当面維持
△△保育園						統合 1.6億						〇〇保育園との統合を検討
△△センター				複合化 7.2億								△△公民館との複合化を検討

(4) シンポジウムの開催

公共施設の再配置について、広く市民に周知することを目的に、シンポジウムを開催する。シンポジウムでは、本市の公共施設の適正配置の方針を示すとともに、先進自治体の職員を招いた事例紹介や、有識者を交えた公共施設のあり方についてのパネルディスカッションを行い、将来像をわかり易く説明する。 ※実施内容は想定であり、今後、変更となる可能性があります。

(5) 会議

公共施設再配置計画の策定に際し、引き続き平成30年度に策定委員会を4回開催する。（ただし、策定委員会1回につき、事前の調整会議として実務担当者及び課長級を対象とした庁内検討会議、部長級を対象とした経営戦略本部会議を開催）